

# 曾於市こども議会

今年10回目を迎えたこども議会。昨年度と同様に提言型のこども議会となりました。

こども議会は、子ども達が曾於市や社会の問題を「自分ごと」として捉え、自ら考え判断し提言していく「主権者教育」の一環として取り組まれています。小・中学校、高等学校から代表の児童生徒が参加し、大人顔負けの提言がなされました。



末吉小学校6年  
もりおか ゆうり  
森岡 佑莉さん



**提言** 曾於の自然を感じてもらえるよう、「体験型自然公園」をつくってみてはどうか。

**市長** 市では市民の方々が安心して活用できる公園を整備しています。自然を感じられるような体験型の公園を設定することは素晴らしい。市に現在ある公園で体験型のイベントを実施し、子ども達にも積極的に参加してほしいと思います。



財部中学校3年  
ひさなが こうすけ  
久長 仰祐さん

**提言** 地域の人たち、地域で暮らす外国人の憩い・交流の場となるように、フットサルやバスケットボールができる施設、健康器具がある公園をつくってみてはどうか。



**市長** スポーツ施設や健康器具は、幅広い年代で健康促進につながります。SDGsの視点からも、住み続けられる曾於市のまちづくりについて、今後も考えていきたいと思っています。



菅牟田小学校6年  
えぐち かずま  
江口 和真さん

**提言** 廃校になった学校を活用することで、学校に行けない人や行く機会がなかった人が、人と触れ合い楽しく学び運動できる施設をつくってみてはどうか。

**市長** 不登校の子ども達の増加にともない、全国には教育支援センターの整備が進められています。曾於市でも、学校の授業をリモートで見られるようにしたり、スポーツができるようにしたりしています。



諏訪小学校6年  
おおくぼ あやの  
大窪 彩乃さん

**提言** SDGs「15陸の豊かさを守ろう」と関連して自然豊かなまちづくりをしよう。空き家の整備や歩道の整備などができないか。

**市長** 空き家バンクへの登録や補助を行っています。道路の整備は住んでいる地元の方に協力してもらいながら行っています。ポイ捨てがなくなるようなポスターと一緒に作り上げたいと思います。

**提言** バリアフリーや認識しやすい案内表示など、さまざまな人や環境にやさしい「インクルーシブ公園」を設置してみてはどうか。



榎小学校6年  
ふるかわ よしかず  
古川 佳和さん

**市長** 市内には安心して過ごせる公園が21か所あります。全国的にもインクルーシブ公園は増えています。市内の遊具を更新する際には、インクルーシブの視点をもって整備を進めています。竹の利用についても検討したいと思っています。



岩南小学校6年  
ふくなが こまき  
福永 小槇さん

**提言** 住み続けられるまちづくりをするため、曾於市のシンボルになるような「幸せのベンチ」を設置してはどうか。



**市長** 市内には自然豊かな観光地があります。提案は幸せが広がるような話題性があり、素晴らしいアイデアだと思います。これは市でも協議し、ぜひ作ってみたいと思います。



大隅中学校2年  
ふくどめ  
福留 ももあさん



**提言** 子どもが安全に過ごせる曾於市のために、たばこのポイ捨てを減らしていきたい。市報での広報、吸い殻入れや喫煙所の設置ができないか。

**市長** たばこの吸い殻については、市としても悩ましいところです。市の条例で公園での喫煙禁止することもできますが、双方の意見を聴いて、どちらにとってもよい方法を模索していきたいと思っています。

**提言** SDGs「木から広がるまちづくり」～柳迫の想いを市全体に～シンボルツリーが道路拡張でなくなることを知りました。その木を活用することはできないだろうか。

**市長** シンボルツリーが伐採されることは残念ですが、その木を加工・活用する考えは素晴らしいと思います。柳迫の地域の方が大切にしている木への想いを全市民に伝えていきたいと思っています。



柳迫小学校6年  
やました あがた  
山下 上さん

**提言** 曾於市の豊かな食材を各家庭で積極的に消費し、多くの世代の健康を支えることができないだろうか。曾於市産の食材にシールを貼って活用することで健康長寿の街につなげたい。

**市長** 食べることは運動・勉強のエネルギーのもとになります。曾於市の食材に関心をもってもらうためシールを活用することは大変おもしろい取り組みです。今後も健康のために取り組みたいと思います。



岩川小学校6年  
さかぐち こと  
坂口 心都さん





笠木小学校6年  
林 暖人さん

提言 献立表に、地元産の食材は生産地まで詳しく記載することで、小学生のうちから地域のよさを知ることができるのではないか。また曾於市で活躍したいという子どもも増えるのではないか。

市長 曾於市の学校給食では、地元の食材を積極的に活用しています。毎月19日はそのgood給食として提供しています。献立表にできる限り記載していきたいと思います。

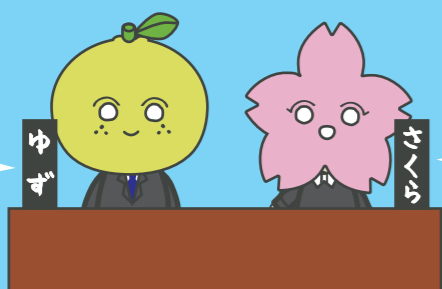


恒吉小学校6年  
森山 颯太さん

提言 閉校した学校を活用して曾於市に新しいアウトドアスポットをつくってみてはどうか。曾於市の豊かな自然を存分に味わうことができるのではないか。

市長 曾於市には活用されることなくそのままになっている校舎があります。財部町には学校体験型施設としてアウトドアが体験できる施設がありますが、地元の理解と施設維持に費用がかかります。

みんな自分の考えをしっかりと提言してスゴイ！



地域をより良くするために一人ひとりが自分ごととして考えることが大切だね

提言 地域の輪を活性化させるため中高生が遊べる場・市民が触れ合う場・フォトスポットの設定・チューリップ券の活用を行うことにより絆づくりにつながるのではないか。



末吉中学校3年  
有川 心花さん

市長 曾於市内での中高生の遊び場・市民が触れ合う機会・イベント・スタンプラリー・チューリップ券の配布など、どれも素晴らしい提言ですので、前向きに取り入れていきたいと考えています。



曾於高等学校2年  
学所 志音さん

提言 SNSによりイベント当日の開催状況の発信や発信頻度を上げてみてはどうか。空き家リノベーションによる宿泊施設を設置し、曾於市の豊かな自然を感じてもらうことで観光客が増え、曾於市の活性化が図られるのではないか。

市長 市の空き家は4,000戸あり、増え続けている。空き家を再生するために市でも補助を出しています。



大隅北小学校6年  
野村 風華さん

提言 移動手段の限られた高齢者の買い物を助ける移動販売車の活用を広げると、より住みよい街になるのではないか。



市長 移動手段の限られた高齢者などを助けるために、訪問給食サービスや、思いやりバス無料乗車券を提供しています。欲しいものを事前に予約する考えはとてもいい考えであります。今後も住みよいまちづくりのため、市として協議を進めていきたいと思っています。



財部小学校6年  
井之上 弥武さん

提言 プロスポーツのキャンプ地として、観光客が来るにぎやかな町にしたい。閉校になった学校を活用し、曾於市でキャンプを行うチームを誘致することで、観光客増加につながるのではないか。

市長 良い考えだと思います。現在も財部北小学校跡地を使って合宿を行っているチームもありますが、プロが使用するには整備が必要です。



財部南小学校5年  
西別府 美光さん

提言 居住区域を限定し、その中で住環境を整備するといいいのではないかと。小さい子どもが遊ぶことができる公園の整備やイベントの開催、空き家の改築・提供をしてみてはどうか。

市長 住む人が安心して生活できるようにすることは大切な視点です。居住する区域を限定して整備していくという考えを参考にさせてもらいながら、今後、検討していきたいと考えます。



中谷小学校6年  
坂田 恋菜さん

提言 使われていない空き家や田畑を有効活用し困っている人を助けたい。使っていない田畑を無料で貸し出すと、農業を始めやすくなるのではないか。

市長 空き家バンクは曾於市でも活用しています。空き家バンクに登録された家の改修には補助がありますので、その補助を活用してほしいと思います。農地を無料で貸し出すかどうかは農地を持っている人の判断になります。

提言 畜産業の盛んな町、曾於市に住んでいるからこそ、私たちはもっと動物の命を大切にしなければならない。ノラ犬やノラ猫の保護施設を設立し、保護だけではなく、命について学ぶ場をスクラブ内に設置できないか。

市長 動物愛護センターの設置には県の判断が必要です。近くには霧島市にあります。スクラブでも動物との共生は大切な視点です。動物の命を大切にする機会を増やしていきたいと思います。

提言 自転車で通学したいと考えるが、帰りが暗くて不安がある。通学路に街灯をつけるのはどうか。また、街灯をつけることで犯罪発生率も減るのではないか。



市長 曾於市で管理している街灯は1,600機あります。市民が安心安全に暮らせるように、今後も街灯整備に努めていきたいと思っています。



光神小学校6年  
白坂 愛瑠さん



深川小学校6年  
永山 優月さん

提言 「みんなが安心して住み続けられるまちづくり」について考えました。交通安全意識を高めるために、自転車専用道路の建設や道路のカラーリングについて検討できないだろうか。

市長 市内に自転車専用道路はありません。そのため、自転車は車道を通ることになります。道路の安全対策のため、県と協議して、状況に応じて整備していきたいと考えます。

